

広報紙

ほっかいどう

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.



2020.4.24
民族共生象徴空間
オープン



当たる
道産品
裏表紙をチェック! >>>

2020年
3月号
令和2年2月発行
通巻234号

【特集】世界から選ばれる、魅力ある観光地づくり

北海道の魅力を世界に発信し、
国内外の交流を拡大していきます。



2020年は 北海道・新交流時代の幕開け

近年、北海道を訪れる外国人観光客が増え続けています。2018年度は、アジア地域の経済成長などが追い風となり、外国人来道者数が初めて300万人を超ました。

2019年は、道内では17年ぶりに欧州路線、12年ぶりにオーストラリア路線が就航したほか、G20観光大臣会合では、北海道の食と観光を世界に発信することができました。

そして、2020年は道内7空港の一括民間委託のスタートや、アイヌ文化の復興・

発展の拠点となるウポポイのオープン、東京2020オリンピックにおけるマラソン、競歩、サッカー競技の札幌開催など、本道の魅力が世界に届き、国内外との交流の一層の拡大が期待される「北海道・新交流時代」の幕開けとなる年です。

今後10年、北海道はさらに飛躍しようとしています。2030年の札幌招致を目指す冬季オリンピック・パラリンピック、北海道新幹線の札幌開業までの間に、現時点で予定されるさまざまなイベントがあり、こうした機会を通じて、世界の人々の注目が北海道に向かわれる機会はますます増えていきます。

▶特集に関するお問い合わせ 道庁観光局 (011)204-5303

地域の活性化につながる 観光地づくりへ

道では、北海道を訪れる外国人観光客数の堅調な伸びをビジネスチャンスにつなげ、「稼ぐ観光」を確立しようと取り組んでいます。そのため重要なのは、世界から目的的として選ばれるような国際的に質の高い観光地づくりであり、北海道の豊かな地域資源を生かした滞在型観光を充実させるための取り組みを進めています。

道民の皆さんも、ぜひ道内各地への旅を体験して、道民だからこそ気づく北海道のすばらしさを感じてみてください。

ほっかい家族

絵:あいば ゆう(第2回北海道のまんが大賞 大賞受賞)



北海道では、さまざまな広報媒体で道政情報や北海道の魅力を発信しています。

北海道公式ウェブサイト



北海道庁ブログ
「超!!句ほっかいどう」



北海道庁広報Twitter



北海道庁インターネット放送局「Hokkai-Do」画】



北海道ミライノート



北海道メールマガジン
Do・Ryoku(動・力)



北海道の広報番組

情報ねづち
赤れんが

オープン間近のウポポイ情報などをお届けします。

HTB
2020年
3月7日(土)
午前11時13分~
(予定)

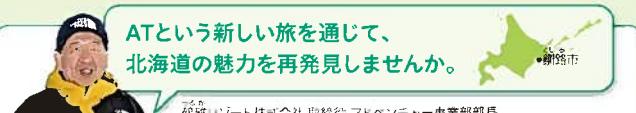
自然やアクティビティーを楽しむ滞在型観光

●四季を味わえる

アドベンチャートラベル

アドベンチャートラベル(AT)とは、アクティビティー(身体的活動)、自然、異文化体験の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅のスタイルのこと、欧米を中心に年々拡大している市場規模は約7兆円といわれています。

北海道は、四季を通じて楽しめるコンテンツが豊富にそろっており、道では、こうした優位性を生かして滞在型観光を充実させていくと、海外富裕層を中心としたAT旅行者の拡大に向けた取り組みを進めています。現在は、世界最大のATイベントである、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021の開催実現に取り組んでいます。



ATという新しい旅を通じて、
北海道の魅力を再発見しませんか。



北海道を遊ぼう！2020



北海道を遊ぼう！2020

北海道の体験型観光に関する最新情報を集めたイベントを開催します。
主催：北海道、(公社)北海道観光振興機構

道内各地の魅力的なアウトドアフィールドや旬の体験メニューの紹介、キャンピングカーの試乗体験、クイズ＆抽選会、北海道観光PRキャラクター「キュンちゃん」との撮影会など、アウトドア派にぴったりの企画が盛りだくさん。道内旅行のプランに役立つ情報をお届けします。参加無料で、事前申し込みは不要です。ぜひご家族でご来場ください。

●日時／3月21日(土)、22日(日)10～18時(22日は17時まで)

●会場／サッポロファクトリーアトリウムおよび煙突広場(札幌市中央区北2条東4丁目)



SIRIで体験できること（ノルディック・ウォーク）



地域

●歴史・文化の魅力を 生かした観光地づくり

外国人観光客にとって日本の歴史や文化は魅力的な要素で、その土地への理解と愛着を深め、旅の満足度を高めることにつながります。

北海道には、縄文遺跡群や北前船などの日本遺産、ウポポイ(民族共生象徴空間)など、本道独自の歴史・文化を伝える資源が豊富にあります。

道では、こうした資源を生かして地域の魅力の向上につなげるため、公益社団法人北海道観光振興機構と連携して、ATやサイクリングなどといった新たな体験型観光の振興などに取り組んでいます。

*北前船は、江戸時代から明治時代にかけて、大陸と北海道を日本海回りで結んでいた帆船で、北海道からは昆布やニシンなどを運び、寄港地で商品を売り買いしながら航海していました。



ウポポイでは、アイヌ古式舞踊などアイヌ文化を体験できます



ウポポイ(民族共生象徴空間)が 2020年4月24日、白老町にオープン。 ぜひアイヌ文化を体感してください。



▶お問い合わせ 道庁アイヌ政策課
(011)204-5185

アイヌ文化の復興・発展のための拠点

この春、白老町に誕生する「ウポポイ」は、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味します。私たちの国の貴重な文化でありながら、存立の危機にあるアイヌ文化の復興・発展のための拠点となるナルセンターです。

北日本初の国立博物館である「国立アイヌ民族博物館」、さまざまなプログラムを通じてアイヌ文化を体験できる「国立民族共生公園」などで構成されています。

独自の言葉であるアイヌ語や信仰に触れ、伝統芸能・食・ものづくりを体験することで、アイヌ民族がどのように自然と向き合い、文化を受け継いできたのか、一緒に学びましょう。



先住民族アイヌを主題とする日本初の国立博物館



国立アイヌ民族博物館

口承文芸をはじめ、アイヌ語由來の地名、カムイ(神)の考え方や自然観、衣食住や他文化との交流などを、アイヌ民族の視点で多彩に展示します。

体験型フィールドミュージアム

国立民族共生公園

アイヌ古式舞踊をはじめ、食文化、ムックリ(口琴)の演奏や伝統工芸品づくり、アイヌの子どもたちの遊びなど、多様な体験プログラムが用意されています。

世界中から多くの方に
来ていただき、
アイヌ文化を知って
ほしいですね！



「アイヌ」は「人間」という意味だと教わりました。ウポポイが日本国内外にもとより、世界中から人が集まり、現代人が忘れかけた時の流れや優しさ、自然との向き合い方など、「人間」本来のあり方が見える「森」のような存在になってくれるらしいですね。

<2020年度 営業日・営業時間>

期 間	営業時間
4月24日(金)～7月19日(日) 9月1日(火)～10月31日(土)	平日／9:00～18:00 土日祝日／9:00～20:00
7月20日(月)～8月31日(月)	9:00～20:00
11月1日(日)～3月31日(水)	9:00～17:00

※休業日／月曜日(祝休日の場合はその翌日以降の平日)
および年末年始(12月29日～1月3日)

●前売り入場券は全国主要コンビニ、右記ウェブサイトで購入できます。

<入場料(税込)>

	個 人	団 体 (20人以上)
大 人	1,200円	960円
高 校 生	600円	480円
中学生以下	無 料	無 料

※博物館と公園の共通券
(博物館の特別展示や一部の体験メニューを除く)

<駐車場>

一般駐車場	約480台
大型駐車場	約80台

JR白老駅から徒歩約10分。
白老川にかかる橋で約10分。

最新情報は「ウポポイ」
ホームページをご覧ください。

ウポポイ 検索 QRコード

を元気にする取り組みです。

▶特集に関するお問い合わせ 道庁観光局 (011)204-5303
道庁食関連産業室 (011)204-5979

の歴史や文化に触れる旅

北前船の歴史を生かし、観光メニューの充実を目指します。

新幹線木古内駅活用推進協議会 事務局
(木古内町まちづくり新幹線駅活用推進室主査)
畠中 正実さん

当協議会は、北海道新幹線木古内駅を拠点として、駅周辺の道南西部9町の自治体や公共交通機関などが中心となり、観光による地域活性化を目指して活動しています。

当エリアでは、北前船に関連する歴史・文化ストーリーが2017年、道内初の日本遺産に認定されたことを受け、今年度から取り組んでいるのが、北前船を地域ブランドとして活用した観光地づくりです。江戸時代から明治時代にかけて、北前船の交易やニシン漁で繁栄した道南西部地域には、往時の文化や伝統が色濃く残っていることから、歴史的な観光資源をPRするとともに、地域の一体感の創出に取り組んでいます。

その一環として昨年10月、東北の旅行エージェントを招いてモニターツアーを実施。松前酒づくり体験や江差追分実演鑑賞のほか、団体ツアーでしか体験できない観光メニューを盛り込み、特別感を演出するよう工夫しました。今後は、観光資源の魅力を伝えられるガイドの養成など、受入体制の整備を進め、団体ツアーの造成につなげていきます。

モニターツアーでは、江差追分の実演(左)や地域のガイドによる解説(右)などを実施

食の魅力で北海道を発信!

●道産ワインのブランド力向上

北海道は、ブドウ栽培に最適な条件がそろう地域として注目され、近年、急速にワイナリーの集積が進んでいます。

道産ワインのブランド力を高めるために道が取り組んでいるのが、地理的表示(GI)制度です。地域の農産物や食品をブランドとして登録・保護するための制度で、2018年6月、国税庁からワインの地理的表示「北海道」が指定されました。これにより、北海道産ブドウ100%などの生産基準をクリアしたワインにのみ「北海道」の表示が可能になり、他製品との差別化や消費者の信赖性の向上などが期待できます。

道では今年度、道内外の一流シェフなどとの連携によるテストマーケティングや、国内外でのワインプロモーションなどを実施。今後もGI制度を広め、品質向上や販路拡大、ワイン作りに携わる人材育成などに取り組んでいきます。

『GI Hokkaido』は、生産基準を満たした道産ブドウ100%の上質ワインの印

道内には41カ所のワイナリーがあり(2019年11月現在)、それぞれに個性豊かなワインが造られています。当法人は地理的表示「北海道」使用管理委員会の事務局として、道産ワインの普及のための活動を進めています。

道と連携して今年度に取り組んだのが、シンガポール、ロンドン、東京で開催した道産ワインと食のプロモーションイベント。中でもロンドンは、世界のワイン流通の拠点として知られ、こうした場で道産ワインに好意的な評価を得られたことに手応えを感じつつも、今後は、品種や製法の特長をしっかりと伝えることで世界市場での認知度を高めていくことが課題だと感じました。

また、道産ワインの価値を広めるためには、飲食店をはじめとするプロ向けのプロモーションも重要です。どんなシーンや料理に合わせて道産ワインを提供するとおいしく味わってもらえるかを学び合う場として、プロ向けのワインセミナーなどを開催し、道産ワインの価値を知って選んでもらえる環境づくりを今後も進めています。

ロンドンで行われたプロモーション

プロ向けのワインセミナー

まさかは必ずやってくる 防災ガイド

防災・災害情報は 北海道 危機対策 検索

3月は真冬の寒さが和らぐ季節ですが、時には激しい暖気で急速に雪解けが進み、想定外の被害が発生することがあります。一昨年3月上旬には記録的な大雨や気温上昇による融雪のため、標茶町をはじめ道内各地で浸水などの被害が発生しました。気象情報に注意し、最新のハザードマップと避難場所を確認しておきましょう。

▶道庁危機対策課 (011)204-5008

融雪灾害に備えましょう
気象情報に注意し、避難場所などを再確認!



標茶町役場総務課
交通防災係長
伊良モ 一貴さん

いきいき 地域 から

総合振興局 振興局の話題をお届けします。

鹿追町の然別湖に真冬の2ヶ月間だけ現れる「しかりべつ湖コタン」では、3月22日(日)まで氷上露天風呂やアイスバー、アイスチャペルなど、雪と氷の世界が楽しめます。

また、上士幌町の「ぬかびら源泉郷スキー場」では、上質なパウダースノーでスキーやスノーボードが満喫でき、歩いて5分のところには源泉かけ流しの温泉もあります。まだまだ冬を楽しみに、ぜひ十勝

鹿追町観光協会 検索▶鹿追町観光協会 (0156)66-1135
上士幌町観光協会 検索▶上士幌町観光協会 (0156)7-7272

ひだかの春を満喫しよう!

ひだかの春は、春ウニや桜など魅力的なコンテンツが多くあり、管内では4月から5月にかけて「えりもうに祭り」「さまにウニまつり」「浦河桜まつり」「しづない桜まつり」などイベントが盛りだくさん。また、ひだかの春をPRする「ひだかSpring Premium」を4月から5月の期間実施し、PRイベントや素敵な企画を予定しています。一昨年、日高厚生ICが開通し、札幌から車で約70分とぐんと近くなつたひだかの春を、満喫してみてください。

※写真はイメージです。
ひだか銀光ナビ 検索▶日高振興局地域政策課 (0146)22-9077

お知らせ 道議会

定例会の概要

令和元年第4回定例会(11/26~12/12)

■主な議決の状況

◎知事提出案件 25件
●予算案 3件
台風災害などによる被災施設の早期復旧や再度災害の防止を図る経費など
●条例案 10件/その他 8件/決算 4件
北海道無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例案など

◎議員・委員会提出案件 5件
●意見案 5件
日米貿易協定に関する意見書など

■議員と札幌大学学生との意見交換会

意見交換会後の記念撮影

札幌大学との包括連携協定に基づき、議員と学生が「外国人労働者の受け入れ」などといった北海道の諸課題について意見交換を行いました。

～次回定例会のお知らせ～

令和2年第1回定例会は、2月下旬に開会予定です。最新情報はウェブサイトやツイッター(@hokkaidogikai)などをご覧ください。

～ウェブサイトをご覧ください～

議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧いただけます。

北海道議会 検索

質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での閲覧のほか希望者への配布もしますので、下記にご連絡ください。

▶議会事務局政策調査課 (011)204-5691

みんなの 赤れんが

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはウェブサイトへ。

道立北の森づくり専門学院 第1期生募集中！

4月に旭川市に開校する「北海道立北の森づくり専門学院」では、北海道の次代の林業・木材産業を担う方を募集中。経験の有無を問わず意欲あふれる皆さんの応募をお待ちしています。



Hokkaido College of Northern Forestry
北海道立北の森づくり専門学院

出願期間	2月14日(金)～3月12日(木)
試験日	3月19日(木)(札幌・東京)
試験科目	小論文および面接
出願資格	高校卒業程度の学力を有し、40歳以下
その他	就学支援制度あり

▶道立林業木材課
(011)206-6579



MONOテクと障害者職業能力開発校の訓練生募集中！

道が運営する職業訓練施設「MONOテク（北海道立高等技術専門学院）」（全道8校）と「北海道障害者職業能力開発校」は、4月入校生を募集中です。専門的な知識や技術・技能を身につけて就職を目指しませんか。3月末に離職される方も入校できるよう、4月も応募を

お待ちしています。詳しくは次のウェブサイトへ。

▶MONOテク 障害者校 [検索]



▶道庁人材育成課 (011)204-5359

サイバー犯罪への対策を強化しましょう

ネットバンキングを狙った不正送金事案やパソコンのウイルス感染被害など、国民生活を脅かすサイバー犯罪の危険性が社会全体で大きくなり上げられています。

サイバー犯罪の被害に遭わないようには、次の対策を実施しましょう。

- パソコンやスマートフォンにはウイルス対策ソフトをインストール
- パソコンの基本ソフト(OS)やウイルス対策ソフトは常に最新の状態に
- 身に覚えのないメールの添付ファイルやURLは開かない
- 不必要的アプリや信頼の置けないサイトからソフトウェアをダウンロードしない
- 定期的にバックアップデータを保存
- IDやパスワードは、自分自身でしっかり管理
- オンラインショップでの買い物では、そのサイトが本物かどうかよく確認

サイバーセキュリティは、一つの対策を講じれば大丈夫というわけではありません。複数の対策を併用してインターネットを安全に利用しましょう。

▶道立 サイバーセキュリティ [検索]



▶道立サイバーセキュリティ対策本部
(011)251-0110

保育士資格をお持ちの方の就職を支援します！

道内各地の保育所で保育士が不足しているため、保育士資格をお持ちの方々の就職支援を行っています。保育の仕事から離れている方はもちろん、現在お勤めされている方でも登録が可能です。就職に役立つ情報が得られるほか、相談もできます。ぜひ登録をお願いします。

【届出対象】

保育士資格をお持ちの方

【届出方法】

次のウェブサイトから
簡単に登録できます。

▶福祉のお仕事 [検索]
▶北海道福祉人材センター
(011)272-6662



ブロック塀の安全点検のお願い

ブロック塀を所有・管理している方は、防災対策として、次のチェックポイントをもとに、安全点検を行ってください。

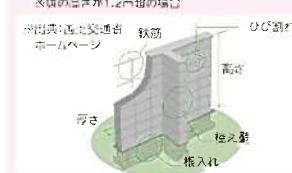
1～5をチェックし、一つでも不適合がある場合は危険ですので、付近通行者への注意表示と、塀の補修や撤去を行いましょう。わからないことがあれば、専門家に相談してください。

【チェックポイント】

- 1 塀の高さは地盤から2.2m以下か
- 2 塀の厚さは10cm以上か
※塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上
- 3 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか
※塀の高さが2.2m超の場合
- 4 コンクリートの基礎があるか
- 5 塀に傾き、ひび割れはないか

【専門家に相談しましょう】

- 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかけ掛けされているか
- 基礎の根入れの深さは30cm以上か
※塀の高さが1.2m超の場合



ブロック塀に関する相談は、お住まいの市町村の建設担当課または各総合振興局・振興局の建設指導課にお問い合わせください。▶道府県建築指導課
(011)204-5097

おいしい道産品プレゼント！

次のアンケートに答えて道産品を当てよう！※当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

北海道が観光地としてたくさんの人を「おもてなし」する上で大切だと思うものは？(複数回答可)

- ①笑顔
- ②あいさつ
- ③外国語対応(会話・案内板など)
- ④食べ物(ベジタリアン、ヴィーガンなども含む)
- ⑤心のこもったサービス

●応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

●応募期限:3月19日(木)必着

応募いただいた方の人件費は、当選品の発送以外には使用いたしません。

●応募先:〒060-8588(住所不要)北海道庁報広聴課

「広報紙3月号 おいしい道産品プレゼント！」係 [広報紙っぽかいどう] [検索]

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。3月12月号のプレゼントには、6,612件の応募をいただきました。

ホクレン「北海道産ゆめびりかの発芽玄米グラノーラ」をプレゼント！

抽選で
50名様



北海道の人口	令和元年12月末	前年同月比
総人口	5,268,166人	36,726減
男	2,488,844人	17,218減
女	2,779,322人	19,508減

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを採用しています。

次号のお知らせ 次号は5月に配布予定です。



みんなの文字

この広報紙は原則的に「美しい植物」発行／北海道総合政策部知事室広報課
印字インクを使用しています。本文には見やすいヒバーサルデジタルフォントを採用しています。

広告

この広報紙は、広報紙の読みやすさを重視して書かれております。